

”幸せが訪れますように”ラベンダーを活用した地域学校協働活動



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内中学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
柴田町立 船迫中学校	船迫地区小・中学校運営協議会 令和2年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 2名 1名 地域コーディネーター 1名 0名	柴田町協働教育推進委員会



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

船迫中学区にある小学校は一校であるため、ほとんどの中学校生徒にとって、小学校時からの人間関係がおおよそ固定化された状況にあり、コミュニケーション能力の伸長・発展が図られにくい一面がある。そのため、船迫中学校では、町民に長年親しまれ、栽培されているハーブである「ラベンダー」をテーマに地域の方と交流することで、生徒のコミュニケーション能力向上と併せて地域人材の育成に力を入れていくことにした。

目標や目指す姿(学校)

生徒が地域の方とも気軽に話すことができるようなコミュニケーション能力を身に付ける

目標や目指す姿(地域)

笑顔があふれ 誇りと愛着を育む 花のまち



船迫地区小・中学校運営協議会 の特徴

委員の立場や属性等

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動推進員 | <input type="checkbox"/> 大学教員 |
| <input type="checkbox"/> 保護者・PTA関係者 | <input type="checkbox"/> 小中学校教員 |
| <input type="checkbox"/> 民生児童委員 | <input type="checkbox"/> 教育委員会職員 |
| <input type="checkbox"/> 地域ボランティア | など、計 14 名で構成 |
| <input type="checkbox"/> 自治会関係者 | 年間平均 2 回程度開催 |

効果的な運営の工夫

一中学校区に一小学校という学区の特性を生かし、小・中学校合同の学校運営協議会にすることで、様々な面で一貫性をもった運営がなされている。
PDCAのマネジメント・サイクルを生かした協議会の運営に取り組み、活動の質の向上とともに意図的、計画的活動の好循環を図ることで学校教育の活性化に努めている。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

船迫地区の生徒のコミュニケーション能力を涵養する取組が話し合わせ、学校に最も身近な地域住民と触れ合いの場を設けることで生徒のみならず地域にとっても良好な関係が構築され、課題の解決を図る方向が決まった。活動の軸として、地域に親しまれているラベンダーをテーマに、地域住民による組織「しばたっ子応援団」を中心として活動に取り組むことになった。



地域学校協働活動

「しばたっ子応援団」の支援で、ラベンダーの刈り取りからラベンダースティック作りまでを地域住民や町内外のボランティアと交流しながら取り組んだ。製作したスティックや刈り取ったラベンダーにメッセージを添え、地域や関係する方々にプレゼントした。



ラベンダースティック作り

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

- ・学校支援ボランティアの活用例や活用方法を周知するために、「しばたっ子応援団事例集」を作成し、学校に配布している。
- ・個人登録だけでなく、任意団体や事業所の方が共に活動する機会を作り、後継者の育成等、継続的に実施できる体制づくりを行っている。
- ・年度当初にコーディネーターが上記の事例集及びアンケート集計結果を配布しながら学校の現状や活動予定の聞き取りを行い、学校支援ボランティアを活用しやすいように工夫している。
- ・地域学校協働活動推進員は地域住民の声や、学校教員の声を聞き入れながら両者の良好な関係性をコーディネートしている。

取組

成果・効果

○ 生徒たちにとって、「しばたっ子応援団」の方々との交流だけでなく、刈り取ったラベンダーやラベンダースティックを地域に還元することで、地域貢献への意識の醸成にもつながっている。また、「しばたっ子応援団」は、中学生と協働して活動することにより、学校にとってもボランティアの様々な支援により、教員は、心理的・物理的な余裕を感じながら、生徒の活動の様子を見守ったり、個別の声掛けに当たったりできるなど、手厚い教育環境の実現につながることができた。

【学校の教員の声】

作業中の生徒を様々な場面でほめたり励ましたりして頂き、活動を通してボランティアの方に素直な気持ちを話すことができる生徒が増えた。交流を重視した活動場面も取り入れられ、参加したボランティアとの振り返りの時間でも積極的に発表する姿が見られた。世代間交流としても意義のある活動で、朝の見守りボランティアに元気に挨拶する姿が以前より見られるようになった。

【参加した「しばたっ子応援団」の地域の方々の声】

- ・生徒たちが作り方が難しいと言いながらも一生懸命に時間内に完成させようと頑張る姿がとても印象に残っている。
- ・迫中(船迫中学校の愛称)の生徒と地域の皆さんとの世代間交流にもつながる素敵な活動だった。
- ・中学生と交流する機会がないので、会話を通じて充実した時間を過ごせた。